

石狩川上流深川圏域  
河川整備計画[変更]

平成 21 年 3 月  
(令和 5 年 6 月部分改定)

北 海 道

策 定 及 び 改 定 経 過		
区 分	年 月	備 考
策 定	平成 21 年 3 月	
第 1 回部分改定	平成 23 年 4 月	
第 2 回部分改定	平成 30 年 7 月	
第 3 回部分改定	令和 5 年 6 月	今回改定

# 石狩川上流深川圏域 河川整備計画[変更]

## 目 次

第1章 対象圏域と河川の現状	1
第1節 対象圏域の概要	1
(1) 圏域の自然環境	1
(2) 圏域の社会環境	2
第2節 圏域内河川の現状	6
(1) 河川の概要	6
(2) 河川改修の経緯	7
(3) 河川環境の現況	10
(4) 利水の現況	16
(5) 河川空間の利用	16
第2章 河川整備計画の目標に関する事項	17
第1節 計画対象区間	17
第2節 計画対象期間	17
第3節 洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項	17
第4節 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持並びに 河川環境の整備と保全に関する事項	18
(1) 流水の正常な機能の維持	18
(2) 河川の適正な利用	19
(3) 河川環境の整備と保全	19
第3章 河川整備の実施に関する事項	21
第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行 により設置される河川管理施設の機能の概要	21
第2節 河川の維持の目的、種類及び施行の場所	25
(1) 河川の維持の目的	25
(2) 河川の維持の種類及び施行の場所	25
第4章 河川情報の提供、地域や関係機関との連携等に関する事項	27
第1節 河川にかかわる調査・研究などの推進に関する事項	27
第2節 河川情報の提供に関する事項	27
第3節 地域や関係機関との連携等に関する事項	27
河川整備計画・附図（北海道管理区間）	29

# 第1章 対象圏域と河川の現状

## 第1節 対象圏域の概要

石狩川は、北海道の中央部から西部に位置するわが国屈指の大河川であり、その幹川流路延長268kmは我が国第3位、また流域面積は我が国第2位の14,330km<sup>2</sup>に及び、北海道総面積の約17%を占めている。石狩川水系では、北海道知事が管理する河川の整備計画を策定するにあたり、これを気候や流出形態など地勢的なまとまりとして11圏域に分割している。石狩川上流深川圏域は、石狩川流域および石狩川の一次支川である雨竜川流域を中心とした深川市、新十津川町、雨竜町、妹背牛町、北竜町、秩父別町、沼田町、幌加内町の1市7町で構成される。

本河川整備計画は、石狩川上流深川圏域内の北海道管理区間を対象としている。

### (1) 圏域の自然環境

#### ① 地形・地質

圏域の地形は約70%が山地、約30%が平地となっている。

圏域北部は、天塩山地に属し標高の低い広大な山麓部が丘のように続き、雨竜川の両岸には河岸段丘が発達している。また、東側に幌内山地、西側に増毛山地があり、三方を山に囲まれている。圏域南部は、石狩川低地の北側にあたり、広い低平地となっている。

圏域内の地質は、圏域北部の雨竜川上流域は火山噴出物の火山角礫岩が広く分布し、部分的に新第三系の砂岩等が分布している。雨竜川中流域は、西方山地に砂岩や泥岩等、東方山地及び鷹泊ダム付近に蛇紋岩質や輝緑岩質の岩石が分布している。また、河道沿いの河岸段丘には、礫・砂・粘土などの堆積物が分布している。圏域南部の石狩川低地部は、礫・砂・粘土が広く分布している。

#### ② 気候

圏域の気候は、山岳に囲まれた平地のため、内陸性の気候を示し、冬は寒冷多雪であるが、春から初夏にかけてはやや乾燥し、晩夏から秋にかけては比較的雨が多い。圏域の北側に位置する幌加内町の年平均総降水量は約1,500mm、南側に位置する深川市の年平均総降水量は約1,000mm、年平均気温はともに約6℃である。

#### ③ 自然環境

圏域北部の雨竜川上流域は、トドマツ、ミズナラ、エゾイタヤなどの針広混交林が広く分布しており、道立自然公園に指定されている朱鞠内湖ではイトウやサクラマス（ヤマメ）などが生息している。雨竜川中流域では、ミズナラ、エゾイタヤ、シナノキなどの落葉広葉樹が広く分布している。大きく蛇行を繰り返すこの区間は、明瞭な瀬・淵が見られ、スナヤツメやハナカジカなどが生息している。また、マガモやオシドリなどカモ類の生息場となっている。圏域

南部は、石狩平野の低平地となっている田園地帯を流下しており、西方の増毛山地では暑寒別岳<sup>しよかんべつだけ</sup>を中心に暑寒別天売焼尻<sup>しよかんべつてうりやぎしり</sup>国立公園の一部に指定されている。

## (2) 圏域の社会環境

### ① 人口

圏域の人口は約 40,000 人(令和 2 年国勢調査)で、昭和 40 年以降減少傾向にある。

### ② 産業

圏域内の産業構造は、農業従事者が約 24%と最も多く、次いで医療・福祉、卸売・小売業、建設業等が主な産業となっている。

### ③ 土地利用

圏域内の土地利用は、山林が約 63%と大部分を占め、農地は約 16%、宅地は約 1%程度となっている。

### ④ 交通

圏域の交通網は、深川・留萌<sup>るもい</sup>自動車道、国道 233 号、国道 275 号、国道 239 号、JR函館本線<sup>はこだて</sup>、JR 留萌本線などの基幹交通施設が位置している。

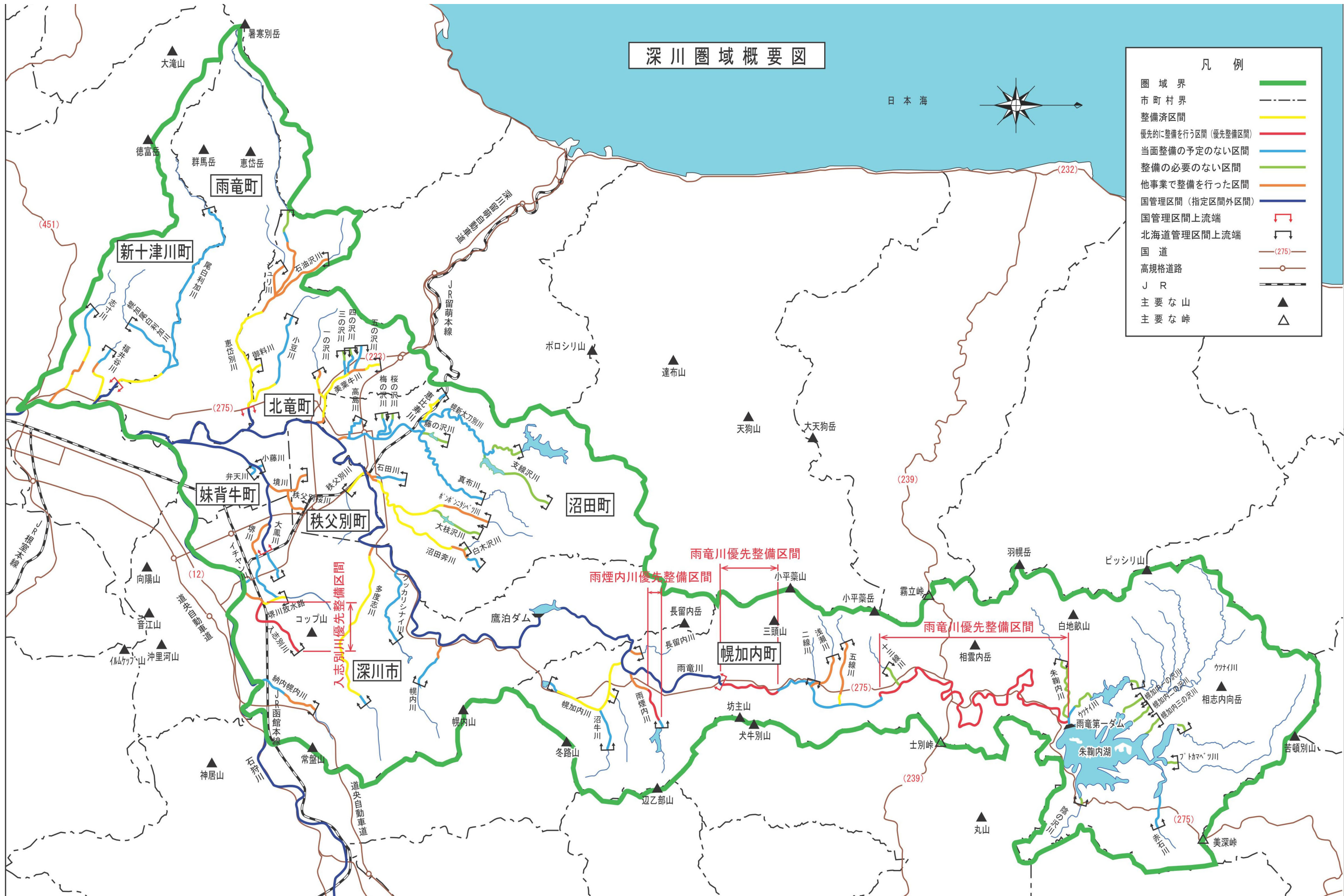
### ⑤ レクリエーション施設

圏域北部に広がる朱鞠内湖の周辺一帯は道立自然公園に指定され、キャンプ場、釣り場、ボート、カヌー乗り場等が整備されており、様々なレクリエーションの場として利用されている。また、朱鞠内湖及び朱鞠内湖に流入する河川ではイトウ、サクラマス（ヤマメ）等が放流されており、平成 4 年に設置された孵化<sup>ふか</sup>施設を拠点として内水面漁業が営まれている。また、遊漁事業もワカサギ釣りの定着により盛んに行われている。

表1 圏域内の道管理河川と優先整備区間の一覧

河川 番号	河 川 名					北海道管理区間 管理延長	優先整 備区間	備 考
	本 川	1 次	2 次	3 次	4 次			
1	・	シンスゴワ 志寸川				9.3km		
2	・	オシタリカガワ 尾白利加川				20.8km		
3	・	フクイダニカガワ 福井谷川				4.5km		
4	・	ホホアキシナリカガワ 横加尾白利加川				7.0km		
5	・	ウリュウガワ 雨竜川				78.4km	5.3km 32.5km	下流端：北海道知事管理区間の起点（旧JR橋上流端） 上流端：下流端から5.3km上流地点 下流端：五号の沢川 上流端：雨竜第一ダム
6	・	オホホウガワ 大風川				2.1km		
7	・	ベンキンガワ 弁天川				1.2km		
8	・	ユフジガワ 小藤川				0.3km		
9	・	サカイ ガワ 境川				3.5km		
10	・	チツベツサカラガワ 秩父別桜川				2.5km		
11	・	サカイ ガワ 堺川				7.5km		
12	・	サカイガワホウスイロ 堺川放水路				1.8km		
13	・	エタイベツガワ 恵徳別川				19.0km		
14	・	ショウズガワ 小豆川				9.7km		
15	・	オリユウガワ 御料川				0.9km		
16	・	シ ュ リ ガワ シュリ川				2.8km		
17	・	ヒキニシガワ 石油沢川				5.0km		
18	・	ビバウガワ 美葉牛川				10.4km		
19	・	イチ サワガワ 一の沢川				7.9km		
20	・	サン サワガワ 三の沢川				1.9km		
21	・	ヨン サワガワ 四の沢川				2.0km		
22	・	ゴノ サワガワ 五の沢川				2.0km		
23	・	ホロニイタ キベツガワ 横新太刀別川				34.2km		
24	・	タカシマガワ 高島川				1.9km		
25	・	ウメ サワガワ 梅の沢川				2.2km		
26	・	サカラ サワガワ 桜の沢川				2.1km		
27	・	マホガワ 真布川				20.0km		
28	・	アシ サワガワ 藁の沢川				2.7km		
29	・	エビ ス ガワ 恵比寿川				2.5km		
30	・	シメン サワガワ 支線沢川				4.5km		
31	・	チツベツガワ 秩父別川				6.4km		
32	・	ヌマキ 沼ノガワ 沼田奔川				15.0km		
33	・	イシダガワ 石田川				6.8km		
34	・	ボン ボン ニ タ シ ベ ッ ガワ ボンボンニタシベツ川				8.0km		
35	・	オホエダサワガワ 大枝沢川				3.0km		
36	・	シラキ サワガワ 白木沢川				0.8km		
37	・	タドシ ガワ 多度志川				13.8km		
38	・	クツカリシナイガワ クツカリシナイ川				6.5km		
39	・	ホロナイガワ 横内川				4.5km		
40	・	オホムンナイガワ 長留内川				0.6km		
41	・	ホロカナイガワ 横加内川				11.0km		
42	・	ヌマシガワ 沼牛川				3.6km		
43	・	ウモツナイガワ 雨煙内川				4.4km	2.4km	下流端：町道東一線橋上流 上流端：雨煙内放水路（雨煙内ダム放水路）起点
44	・	ニ線川				0.5km		
45	・	アサセ ガワ 浅瀬川				3.0km		
46	・	ゴセン ガワ 五線川				4.9km		
47	・	ジュウサンセンガワ 十三線川				4.0km		
48	・	シユマリナイガワ 朱鷲内川				6.0km		
49	・	ウツナイガワ ウツナイ川				9.0km		
50	・	カガ サワガワ 陰の沢川				6.8km		
51	・	ホロカナイイチ サワガワ 横加内一の沢川				5.5km		
52	・	ホロカナイニ サワガワ 横加内二の沢川				3.8km		
53	・	ホロカナイサン サワガワ 横加内三の沢川				3.5km		
54	・	アカシガワ 赤石川				5.8km		
55	・	フトカマベツガワ フトカマベツ川				1.5km		
56	・	イチヤンガワ イチヤン川				0.2km		
57	・	ニユウシベツガワ 入志別川				7.2km	6.0km	下流端：堺川放水路合流点 上流端：北海道知事管理区間上流端（道道出合橋）
58	・	オサムナイホロナイガワ 納内横内川				5.5km		

# 深川圏域概要図



凡例	
圏域界	— (thick green line)
市町村界	- - - (dashed line)
整備済区間	— (yellow line)
優先的に整備を行う区間 (優先整備区間)	— (red line)
当面整備の予定のない区間	— (blue line)
整備の必要のない区間	— (green line)
他事業で整備を行った区間	— (orange line)
国管理区間 (指定区間外区間)	— (dark blue line)
国管理区間上流端	┌ (red arrow)
北海道管理区間上流端	└ (black arrow)
国道	— (brown line with number)
高規格道路	— (brown line with circle)
J R	— (black line with cross-ticks)
主要な山	▲ (black triangle)
主要な峠	△ (black triangle)

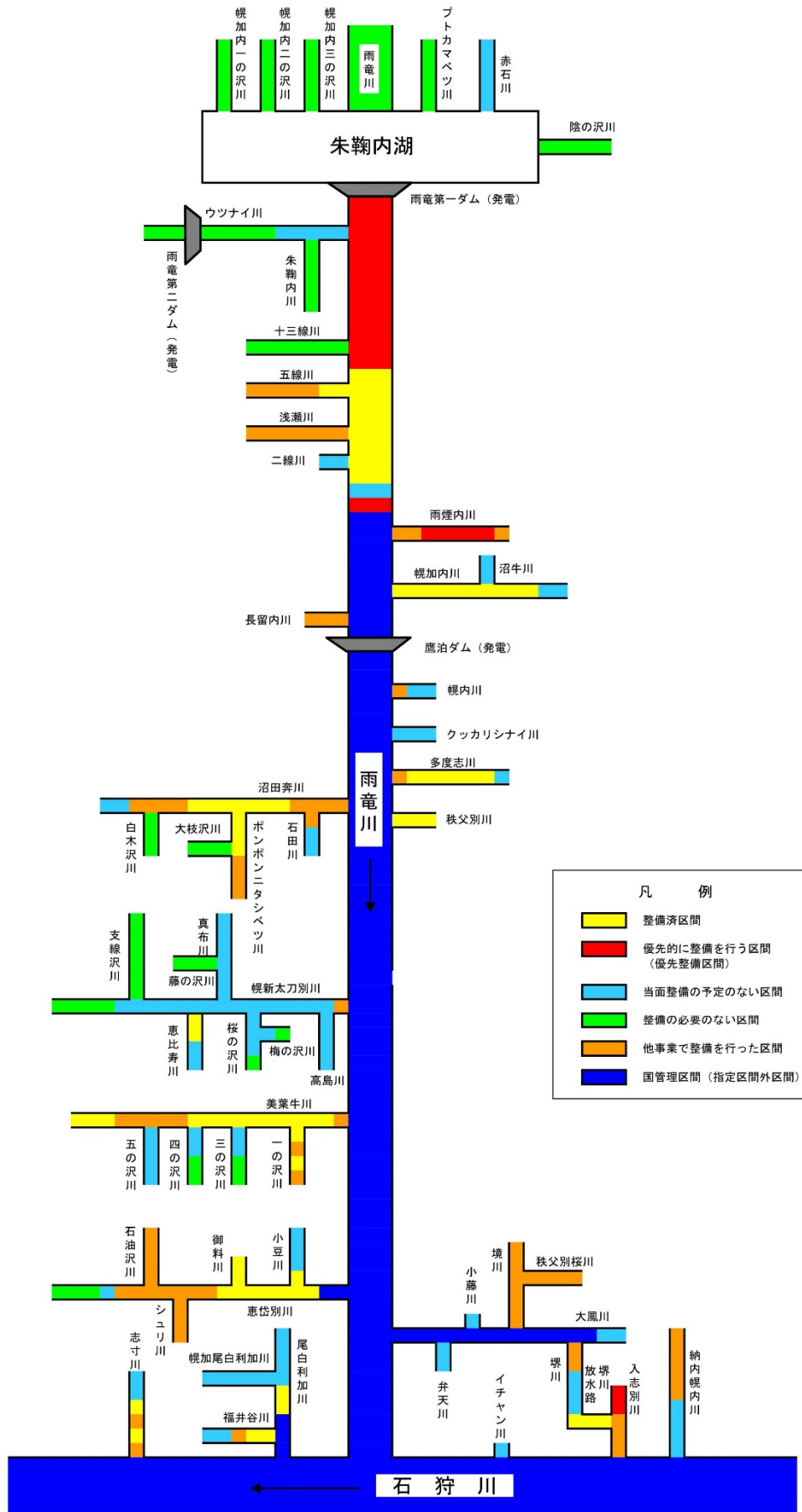


図 河川整備の現況および優先整備区間概略図